2020.07.19

MESSAGE NOTES

ゲストハウス? No! 教会は家族です

エペソ人への手紙 4:11-12

ロイド フラハティ

1. 家族全員が働きに関わっている

家族のうち誰一人としてお客さんではありません。家族ひとりひとりが家族に貢献できる何かを持っています。全てのクリスチャンがミニストリーに関わっていくべきです。

エペソ人への手紙　4 章 11～12 節

11 こうして、キリストご自身が、ある人たちを使徒、ある人たちを預言者、ある人たちを伝道者、ある人たちを牧師また教師としてお立てになりました。12 それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためです。

リーダーは教会のメンバーが神様の働きができるように整えていくことを神様から指示されています。リーダーが教会のメンバーの分まで代わりに働きをするのではありません。

2. お互いを建てあげるため

エペソ人への手紙　4 章 12 節

12 それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためです。

私たちはキリストの体を建てあげるために召しを受けている愛のある、人をケアしていく家族です。教会がケアの必要な人にばかり重きを置いて集まり、他の人の祝福になるために成長したいと考えている人々をないがしろにしていると、教会に対して誤ったイメージを持ってしまいます。教会は、お互いを建てあげ、成長していくために、様々な人々を歓迎するべきす。

3. 教会は家族です

パウロは教会に宛てた手紙の中で、神様の父権と主にある兄弟姉妹というクリスチャン同士の関係について頻繁に書いています。

例えば

ガラテヤ人への手紙　5 章 13 節

兄弟たち。あなたがたは自由を与えられるために召されたのです。ただ、その自由を肉の働く機会としないで、愛をもって互いに仕え合いなさい。

4. 家族に加わる

教会は家族です。その家族の中で自分が兄弟姉妹であることを受け入れてください。必要を目にすれば、その必要を満たしてください。励ましの必要な人がいれば励ましてください。家を解放して自分の与えられているものを分かち合ってください。教会はプログラムで埋め尽くされた宗教的なクラブではなく、仕える心のある人々が溢れる家族として、お互いにいつでも仕え合う、そんな集まりであると聖書は教えています。

だから、教会のメンバーシップに署名する時、それは、何かのクラブに入るために署名しているのではなく、家族に加わるための署名をしているということになります。